

花の日々の生活



高校生との交流会

高校生との交流も早いもので第二ラウンドとなり、生徒さんも慣れてきたこともあり、和やかな雰囲気にもまれて入居者様も嬉しそうです。今回『かさこ地蔵』、『うらしま太郎』、『かぐや姫』、『もも太郎』の劇を熱演していただく、入居者様も耳慣れた昔話な

ので「これ知ってるよ」と話されていまして。歌を劇の途中や後に一緒に楽しむ内容もあり、これがまた良いようです。あわせて若くてかわいい子供たちの踊りも真剣に見て拍手をされ「楽しませてくれるね」と言われていました。男性の入居者様は、どの方も女子高生から大母で、とても嬉しそ



11月6日 → 11月13日 → 11月20日 → 11月27日

1組 4組 2組 3組

鍋パーティー (11月1日)



寒くなってきましたので、恒例の鍋パーティーを行いました。今年の鍋は、もつ鍋とちゃんこ鍋です。目の前のコンロの上で鍋が噴いてくると「あら美味しそうだね！食べたい」と言い、普段あまり食べない方でも、沢山おかわりされたり、ビールなどの飲み物も進みました。「今日はいい日だ、鍋のバランスもいい」「熱い〜鍋は食べると体温まるね。」「とってもおいしいです。もつ鍋は初めて食べました。一人で暮らしていた時は、鍋食べないからうれしくて！」など。ひと段落してオジャが出てくると「見たら食べたくなるね」とニコニコ顔で、また召し上がっていました。花はこの日を境に冬の準備が始まります。まずはクリスマスの飾り付けです。

ツリーを出したとたん「飾るの、いいね〜」とスタッフのそばを離れない入居者様もあり、ツリーの電球を見ながらうっとり「きれいでいいね、こんなに(クリスマスツリー)飾ったらすぐ正月来るよ」と嬉しそうです。あまりに綺麗な電球を見て息を吹きかけ消そうとした勘違いも、楽しい笑いになるひと時です。夜になると「電気つけてくれ」と言われ「ついたぞ！きれいだぞ！」と他の入居者様に教えてられ、どの入居者様も子供のように喜ばれていました。今年の冬は、どのご家庭でも節電に協力しているご時世なので、花でも毎年行っている外から見ていただくイルミネーションについては自粛しております。その分気持ち明るくやっています。

施設長コラム

一年とは早いもので、今年も早や過ぎ去ろうとしています。今年花では、入居者様の退去が6名おられ、内1名が長期入院、2名が病院で亡くなり、3名が花で看取りをしています。この内の看取りが、本年の花にとっての最も大きな出来事になります。ご家族様と花と医師がしっかり意志の疎通

をおこないながら協力体制を組むことができたのは、とても意義のあるものでした。看取りはご家族様だけ、又は花だけが望んでもできることではありません。どのご家族様も入居の際は、自分の父親母親に点滴などの管をたくさん体に付けるような延命治療に抵抗があり、安らかな最後を花でと望んで入居される方がほとん

どですが、病状や嚥下の悪化によって食べ物が喉を通らなくなり、水も飲めなくなり、老衰が近づいてきたときには、色々な思いが交差いたします。その時には花での看取りもいいでしょう。自宅に帰って看取られるのもいいでしょう。病院で最後を過ごされることもいいでしょう。実際に母親の看取りについて夫婦の意見が二つ

に分かれて、嚥だ末に親戚の方々の手前があり病院での最後を選ばれたご家族様もいました。ホントの最後の最後までご本人様を中心にご家族様といろんなお話をたくさんさせていただきます。私はどの決断も英断と感じます。この先ご家族様とゆっくりと協議していければと考えています。